

飛行船



期末テスト終わる

～テストの後だからこそ～

いまから ここから

期末テストが終わりました。どうでしたか？ 全力でやりきれましたか？ 終わってしまったことは取り返せないの、今から始められることは大事ですよ。 「今の自分にできること」。何度も言うけど、そこから始めるしかありません。ひとり一人持っている力は違う。だからこそ自分だけの学びが必要なのです。誰かと同じ、友達と同じなんてありえない。「自分に何ができて、何ができないか」。自分をしっかり見つめるところからのスタートです。



基本

6月4日から始まっている「週末学習」きちんと取り組んでいますか？ 少しでも自分で家庭学習する時間を作ろうとする取り組みです。(例年行われているアンケート調査の中で、小田北中生徒の家庭学習時間の短さが指摘されています。)

4月。「ノート作りは自分だけの教科書作り」という話を全クラスでしました。一般的な言い方ですが、今日一日の学習を自宅でノートを広げて振り返るためのノートです。ただ、黒板を写せばいいわけではありません。どんなことでも基礎・基本は大事。どんなにりっぱな建物でも、どんなに斬新で格好いい建物でも、基礎・土台がしっかりしていないと倒れる心配があるよね。私たちの生活や学習も同じでしょう。生活の基本・学習の基本をいい加減にしておいて、そこに「学び」はないよ。ロウるさくいわれる。ひとつひとつが耳が痛い。細かくて「ウルサイな」と思ってしまう親からの一言。そういう一言が私たちの生活の基礎・基本を培っていくのです。

「うるさいなあ」「わかってるわ」「今やろうと思ってたやん」……。言い訳にしか聞こえませんよね。わかっているんです。そうやっていわれることをきちんとしないといけないことぐらい。でも後回しにしてしまうんです。その自分の弱さを認めることから始まるのです。

素直であること

以前、「人にとって一番有益で、一番無益なものは何か」「それは助言(アドバイス)」という話を聞いたことがあります。その人にとって「こうすればより良くなる」ということを聞き入れるか、聞き入れないかはその人次第。「でも……。」「だって……。」など聞いてはいるけど否定的な考え方ではそのアドバイスは、その人のためにはならないよね。「そうですね。」「やってみます。」「なるほど、そう考えることもできますね。」という肯定的な考え方は、その人をより伸ばす方向に働くでしょう。素直に聞く。大切な姿勢だと思います。心が柔らかく、大きいからこそ聞き入れられるのかもしれないね。

尼崎市総合体育大会



部活動壮行会

7月2日(土)から運動部員にとっては「3年間の部活動のまとめ」というべき夏の総体が始まります。勝ち進めば全国大会までつながる大会の幕開けです。この日のために3年間たくさんの練習を積み重ね、身体を鍛え、技術と心を磨き続けてきた3年生。この大会に込めた思いは、今までとは次元の違うもののはずです。私たち2年生はその姿をきちんと目に焼き付けておいてほしいです。競技は団体・チームや個人とあるけれど、ま

ずは、個としてしっかりしないといけませんよね。「チーム一丸」「心ひとつにして…」と言ってはみても、チームの一員としての役割を果たせなくて、「チーム一丸」「心ひとつにして…」はないよね。2年生はレギュラーの中には入ってなくても、その役割はあるよ。小田北の各部活動の伝統を引き継ぐ者としての努めとして、来年、その3年生の姿を越えていくためにね。中には選手として大会に出場する人もいるでしょう。全力で、力の限り競技してください。よき報告を期待しています。

